

研究分野のキーワード：環境保全，安全衛生，環境保健，廃棄物管理，水環境管理

研究紹介

豊かな自然環境に恵まれた愛教大キャンパスでも、ひとりひとりを取り巻く環境がすべて快適とは限りません。保健環境センターの環境安全部門担当として、有害物を含む廃棄物の処理管理、高圧ガス取扱者への安全教育、教育研究環境の快適・安全化のための活動をしながら、それらを自らの研究の基礎にしています。具体的な例を挙げると、環境保全分野では化学物質系廃棄物の適正処理管理、教育研究機関の化学物質管理のあり方、水環境管理などについて取り組んできました。安全衛生分野では鋳金工場の金属ヒューム、TIG 溶接における放射線曝露、教材準備室の異臭、建材・機器・断熱材等に含まれる石綿、暑熱・寒冷作業、低周波騒音、附属学校環境衛生などへの対策があります。必要に応じて名古屋市衛生研究所や労働安全衛生総合研究所、中央災害防止センター等の外部専門家の協力も得て、課題解決を図るとともに活動の成果の内外への提供・普及にも努めてきました。これらの課題を解決するにあたり、その結果だけでなくプロセスを検証し、その成果を社会で広く共有できるようにするところまでを含めて研究テーマにしています。本学での実践例も活用した環境・安全教育を行うことで、学生が教員や産業人等となった後に、拡大再生産されることを目指します。

2011 年度からは、環境研究と環境教育の融合によるエコキャンパスづくりプロジェクトにおいて、保健環境センターチームとして安全・健康・快適とエコに関するキャンパスアセスメントをテーマとして、「キャンパス緑化の効果測定」、「緑化の生気象学的研究」、「化学物質の取扱者の安全衛生」等の課題にも取り組んでいます。2012 年からは、講義棟への緑化だけではなく、学生有志の協力を得ながら文化系クラブ・サークルボックスにも緑化を進めています。環境汚染や健康障害を防止するためのリスクアセスメントを実施し、作業改善、施設改善なども行っています。学生・教職員等すべての構成員とつながりながら安全で快適なキャンパス環境創造を目指す取組によって、持続可能な社会形成のための知見や新たな価値を見出し、科学的に判断し行動できる人の育成を考えています。